



日本共産党吹田市会議員団 主催

# 「地域医療」を考える シンポジウムに150人



後期高齢者医療制度、深刻な医師・看護師不足、小児救急、公的責任等「医療崩壊」が深刻な中、安心して健康に暮らすための地域医療とはどのようなものなのか？ 必要な地域医療を守るために何が必要なのか？ 医療関係者や市民が地域医療をまもる道とともに考えようと、日本共産党吹田市議会議員団が3月30日、「『地域医療』を考えるシンポジウム」を開きました。会場には、満員の150人が参加。医師会長や市民病院総長、救命救急センター長はじめ、吹田の医療界の第一人者がパネリストとなり、討論しました。

大阪府保険医協会勤務医部会・協仁会小松病院副院長の原田佳明さんは、労働基準法どおりに働く医師は1割、「このままでは医療が成り立たない」「医師数増員などで、安心安全な医療を提供することが現場の求める医療改革」とのべました。

吹田市医師会会長の小谷泰さんは、「小児科で30、40代は一人もいない。このままでは医院も

病院も共倒れ」「人の命と健康は聖域でなければならない」と訴えました。

吹田市民病院総長の椿尾忠博さんは「当直も入れると残業は医員で平均月91時間」と長時間労働の実態を報告しました。

済生会千里病院救急救命センター長の甲斐達朗さんは「救急医療は集中医療をするので人件費の割合が62%。補助もなく、十分な救急体制はつぐれない」と救急医療の置かれている問題をのべました。

特別養護老人ホーム「いのこの里」施設長の山本智光さんが発言。

山下芳生参院議員は国会質問を紹介し「根本にある医療費抑制を変える必要がある」とのべました。



## 請願4件が採択されました

### 日本共産党が筆頭紹介議員に

- 吹田で重度障害者が安心して暮らすことのできる拠点施設を求める請願
- (仮称) 青山台4丁目宅地造成計画に関する請願

### 日本共産党も賛成

- 青山台小学校の建て替えに関する請願
- 竹見台幼稚園跡地のマンション計画に関する請願

## 日本共産党議員団が提案などし、可決しました

- 派遣労働者の雇用と権利を守る法改正を求める意見書
- 医師・看護師等の増員を求める意見書
- パートタイム労働条約の趣旨に沿った法改正を求める意見書
- 大阪府政の財政運営に対する意見書
- 中小企業底上げ対策の一層強化を求める意見書
- 地デジ放送の受信対策の推進を求める意見書
- 「バイオマス推進基本法」(仮称)の制定を求める意見書

などが可決